

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(SRBD)プロジェクト
「インフルエンザウイルスと口腔・気道細菌との
相互作用の機序と呼吸器疾患重症化の病態の解明」公開シンポジウム

日時 2014年3月14日15:00-18:00

場所 リサーチセンター4階ホール

- 15:00-15:10 開会挨拶 プロジェクトリーダー 山本樹生
一般講演 ○15:10-16:20 座長 黒田和道 (微生物学分野)
- 15:10-15:25 痙攣重積型インフルエンザ脳症の37歳男性剖検例
市原和明、南正之、亀井聡 (神経内科学分野)
- 15:25-15:35 感染等ストレスに応答するエネルギー代謝関連分子を核内受容体リガンドによって
制御する試み
石澤通康、槇島 誠 (生化学分野)
- 15:35-15:50 口腔細菌がインフルエンザウイルス感染および重症化へ及ぼす影響
神尾宜昌、今井健一、田村宗明、 Marni Cueno、 落合邦康 (歯学部細菌学)
- 15:50-16:05 MOLECULAR CHARACTERISTICS OF HUMAN INFLUENZA A VIRUSES IN
VIETNAM FROM 2010 TO 2011
Dinh Nguyen Tran^{1,2}、 Tran Quynh Nhu Nguyen^{1,3}、 Satoshi Hayakawa⁴、 Masashi
Mizuguchi¹、 Hiroshi Ushijima^{1,4}
(¹Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of Medicine, The
University of Tokyo, Tokyo, Japan; ²Department of Pediatrics, University of Medicine and
Pharmacy, Ho Chi Minh City, Vietnam; ³Children's Hospital 2, Ho Chi Minh City, Vietnam;
⁴Division of Microbiology, Department of Pathology and Microbiology, Nihon University
School of Medicine, Tokyo, Japan)
- 16:05-16:20 Anti-influenza virus aptamers
Penmetcha Kumar、 Subash SC Gopinath、 Thomoko S. Misono、 Emi Suenaga
(National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)
- 16:20-16:30 休憩
○16:30-17:30 座長 江角眞理子 (病理学分野)
- 16:30-16:45 インフルエンザウイルスM1タンパク質N末領域ループ構造の重要性
芝田敏克¹、森山光彦¹、早川智²、山本樹生³、黒田和道²
(¹消化器肝臓内科学分野;²微生物学分野;³産婦人科学分野)
- 16:45-17:00 マウスモデルを用いた妊娠時インフルエンザウイルス感染による母体と胎児への影響
村瀬隆之、春日晃子、山崎元美、山本樹生 (産婦人科学分野)
- 17:00-17:15 ウイルス感染におけるGolgiの役割
—Golgi membrane protein 1はC型肝炎ウイルス感染に関与するか? —
山口裕美^{1,2}、黒田和道³、尾花ゆかり¹、高山忠利⁴、杉谷雅彦¹、増田しのぶ¹、根本
則道¹、江角眞理子¹
(¹病理学分野;²生体構造医学分野;³微生物学分野;⁴消化器外科学分野)
- 17:15-17:30 ウイルス宿主相互作用: HCVと脂質代謝
田中寅彦¹、黒田和道²、槇島誠¹ (¹生化学分野;²微生物学分野)
- 17:30-17:45 子宮内膜症病巣におけるヒト内在性レトロウイルス (HERVs) mRNAの発現について
林忠佑、千島史尚、仲尾岳大、市川剛、鈴木真美、梶田賢司、山本樹生
(産婦人科学分野)
- 17:45-18:00 閉会挨拶 山本樹生